

平成28年度第2回国有林モニターアンケート実施結果

国有林野事業では、国民共通の財産である国有林野を名実ともに「国民の森林」とし、開かれた管理経営をおこなっていくため、国民の皆様からご意見を頂戴しつつ管理経営に取り組んでおり、その取組の一環として「国有林モニター制度」を実施しております。

このたび、平成28年度国有林モニターを対象に第2回アンケートを実施し、国有林に設置している「レクリエーションの森」についてご意見をうかがいました。本稿では、その概要について公表いたします。

本アンケートでは、68名のモニターのうち、60名の方にご協力いただきました（回答率：88%）。ご協力いただき誠にありがとうございました。

1.レクリエーションの森について

林野庁では、優れた自然景観を有し、森林浴や自然観察等に適した国有林を「レクリエーションの森」として設定し、国民に保健休養の場として提供しており、九州管内には36箇所が設置されています（一覧については末尾参照）。まずはじめに、国有林モニターの「レクリエーションの森」制度の認知度や訪問経験について尋ねました。

回答者60名のうち、「レクリエーションの森」制度を知っていた割合は約3割（19名）と低位に留まりました。また、「レクリエーションの森」の訪問経験について尋ねたところ、「レクリエーションの森」と知っていて訪れた方は、わずか6名であり、制度を知っている人数（19名）を下回るとともに、大半（31名）が「レクリエーションの森」に指定されていることを知らずにその場を訪れていることが分かりました。このように、国有林の一部が観光地・景勝地として認知されている一方で、その場が「レクリエーションの森」に指定され、管理・経営されていることについては知られていないことがうかがえます。

また、ひとり当たりの訪問箇所数について尋ねたところ、図1の通りとなりました。訪問経験なしと回答した方が最も多く（23名、回答者全体の38%）、訪問経験ありの中では、2～3箇所程度訪れたという回答が最も多くなりました（18名、同30%）。さらに、訪問した箇所は居住地に近いところに偏る傾向がみられました。

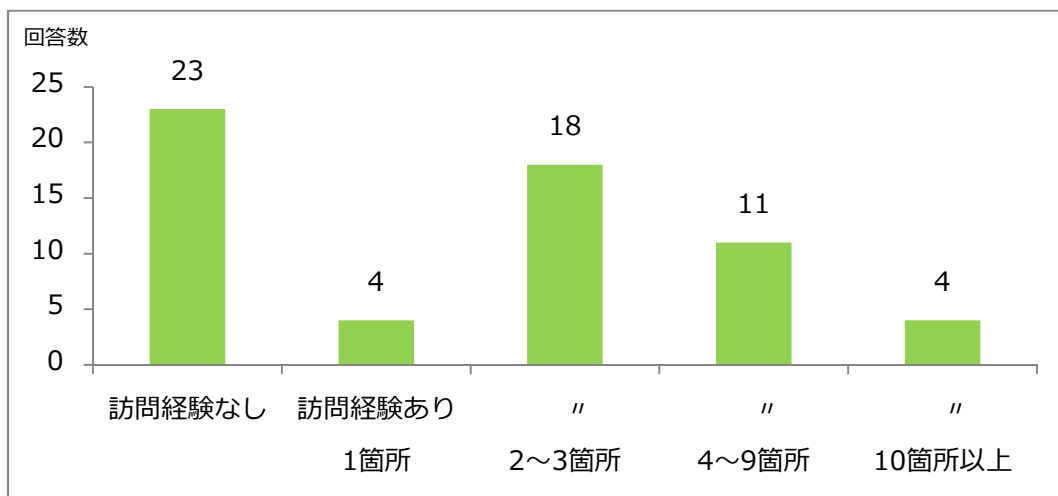


図1. ひとり当たりの訪問箇所数（回答数=60）

訪れたことのある「レクリエーションの森」について尋ねたところ、表1の通りとなりました（複数回答可）。訪問者数が多いところ（回答数10以上）は、⑦虹の松原（佐賀県唐津市）、⑨田代原（長崎県雲仙市）、⑪くまもと（熊本県熊本市、菊池市）、⑮九重（大分県九重町）、⑯くじゅう山（大分県竹田市）、⑰由布・鶴見岳（大分県湯布院町、別府市）で、回答者の居住地（所在県）に依らず一定の回答が得られました。一方で、訪問者数が少ないところ（回答数0または1）は、⑩有明山（長崎県対馬市）や⑬田代浜（鹿児島県屋久島町）、⑳西表（沖縄県竹富町）などの離島のほか、②玄海（福岡県宗像市）、⑥安国寺（福岡県嘉麻市）、⑫木原山（熊本県宇土市）、⑬西之浦（熊本県水俣市）でした。立地条件から、離島にある「レクリエーションの森」の訪問者数が少ないことは想定されますが、屋久島に所在する「レクリエーションの森」4箇所のうち、⑬田代浜（鹿児島県屋久島町）のみが他所よりも少なかったことは特徴的と言えます。

また、訪れてみたい「レクリエーションの森」について尋ねたところ、表2の通りとなりました（複数回答可）。訪れたことがある「レクリエーションの森」とは逆に、⑳屋久島や㉑西表の回答が圧倒的に多く（それぞれ16、12）、続いて、⑬田代浜、⑭千尋の滝（鹿児島県屋久島町）、⑮大川の滝（鹿児島県屋久島町）、⑰枇榔島（鹿児島県志布志市）、⑩有明山（長崎県対馬市）と、いずれも離島に所在する「レクリエーションの森」に回答が偏りました。離島以外の「レクリエーションの森」の中では、①北九州（福岡県北九州市ほか）、⑪くまもと（熊本県熊本市、菊池市）、⑰栗野岳（鹿児島県湧水町）、⑱丸尾（鹿児島県霧島市）で比較的多くの回答が得られましたが、これらは地元からの回答が中心でした。

表1. 訪れたことのある「レクリエーションの森」

回答者数	箇所数	名称（代表例）
0～1	7	離島（⑩有明山、⑬田代浜、㉑西表）、②玄海、⑥安国寺、⑫木原山、⑬西之浦
2～5	16	その他
6～9	3	①北九州、⑭鳴子沢、⑭千尋の滝
10～	6	⑦虹の松原、⑨田代原、⑪くまもと、⑮九重、⑯くじゅう山、⑰由布・鶴見岳

表2. 訪れてみたい「レクリエーションの森」

回答者数	箇所数	名称（代表例）
0～1	21	その他
2～3	4	⑧黒髪山、⑨田代原、⑮九重、⑳おおすみ
4～5	6	離島（⑩有明山、⑰枇榔島）、①北九州、⑪くまもと、⑰栗野岳、⑱丸尾
6～10	3	離島（⑬田代浜、⑭千尋の滝、⑮大川の滝）
11～	2	離島（⑳屋久島、㉑西表）

2.レクリエーションの森に関する情報発信について

続いて、「レクリエーションの森」に関して、期待する情報発信の内容や期待する情報発信の方法について尋ねました（複数回答可）。期待する情報発信の内容は、表3の通りとなりました。最も多く期待された内容は交通手段に関すること（23名）、次いで、見どころ（21名）、周辺情報（14名）となりました。また、期待する情報発信の方法は表4の通りとなりました。最も多く期待された方法は、紙配布（41名）、次いで、メディア配信（18名）、インターネット（16名）となりました。

「レクリエーションの森」に直接関わる交通手段や見どころに関する情報発信のほかに、周辺の観光地や宿泊施設（温泉を含む）、飲食店に関する情報など、周辺情報を求める声が多いことがわかりました。また、情報発信の方法として道の駅が上がるなど、地域住民以外の目にもとまるような情報発信が必要ながわかりました。ドライブや小旅行の合間にパンフレット等を手にとってもらい「レクリエーションの森」を知ってもらう、さらには、ドライブついでに「レクリエーションの森」を訪れてもらうなど、より多くの方に利用いただけるよう情報発信を工夫する必要があると感じました。

また、情報発信の方法として、自治体の広報誌と回答した方が多く、中には、「市町村の広報誌では、市町村内の情報しか載らないため、県など広域単位の広報誌に掲載をお願いしたい」という声もありました。設問1において、訪問経験が地元の「レクリエーションの森」に数回訪れたことがある程度にとどまったことも分かっており、他地域の方にもお越しいただけるよう情報発信の方法を検討する必要があると感じました。

表 3. 期待する情報発信の内容

内容	回答数
交通手段	23
最寄り駅からの移動方法	14
駐車場の有無、料金	6
より詳細な地図	3
見どころ	21
花の見頃	6
四季に関する情報	4
絶景・イチ押しポイント	4
その他全般	7
周辺情報	14
周辺の観光（文化・歴史）スポット	4
宿泊施設に関する情報	3
飲食店（名産）に関する情報	2
その他全般	5
その他	8
利用時間、携行品	3
遊具・アクティビティの有無	3
危険箇所・生物の周知	2

表 4. 期待する情報発信の方法

内容	回答数
紙配布	41
自治体の広報誌	13
市町村役場	6
駅、バスの待合室	6
道の駅	5
観光案内所	3
学校、公民館	3
その他（地元店舗、郵便局など）	5
メディア配信	18
新聞	11
テレビ、ラジオ	6
市販の観光情報誌	1
インターネット	16
専用サイト、スマホサイト作設	10
SNS 発信	3
訪問者の口コミ発信	3

3.レクリエーションの森の観光資源としての活用について

さらに、「レクリエーションの森」を山村地域の観光資源として積極的に活用するために期待するイベントの開催や施設の整備について尋ねました。概要は表5の通りです。イベントについては、多種多様な意見のほか、「自治体や団体主導でイベントや大会が多数開催されているので、国有林でも行うべき」

という意見が各地から上がってきており、森林を活用したイベントへの関心の高さがうかがえました。

また、施設整備については、看板のほか、トイレや休憩所、キャンプ場の整備を求める声がありました。「トイレについては、高齢者や子連れを想定して、バリアフリー化やおむつ交換に対応したものにしたい」、「子連れでも楽しめるよう、キャンプ施設や学習の場を設けて欲しい」など、多様な訪問主体を想定した施設整備への期待がありました。

その他、設問2（表3）において危険箇所・生物の周知を求める声があるほか、本節でも緊急時対策の充実を求める意見があり、観光客が安全・安心に利用できる体制づくりも必要であることを、あらためて認識したところです。

表5. 期待するイベントや施設整備

内容	回答数
イベント	40
森林セラピー	6
自然観察会、森林環境教育	6
フットパス、トレッキング	6
保全活動、植樹・間伐ボランティア	5
キャンプ、バーベキュー	4
トレイルラン、林道マラソン	3
写真コンテスト	3
登山	3
その他（初日の出参拝など）	4
施設整備	16
トイレ、休憩所	5
案内標識、パネル掲示	5
キャンプ場	4
登山道、階段	2
その他	7
緊急時対策（AED、避難所、緊急車両用の通路など）	4
ガイド・インストラクターの充実、養成	3

4. その他意見

最後に、「レクリエーションの森」全般について意見をうかがったところ（自由記載）、「地元住民であってもレクリエーションの森を知らない人が多いと思う」、「レクリエーションの森をもっとPRすべき」、「レクリエーションの森の名称（〇〇風致探勝林など）が分かりづらい」など、情報発信やPRの不足を指摘する声が多数あがりました。設問1において、「レクリエーションの森」の制度を知らない、訪問経験が無い方が多いことも分かりましたので、情報発信の方法について検討し、積極的な発信に努めたいと思います。

以上

九州管内の「レクリエーションの森」一覧



名称
①北九州自然休養林
②玄海風致探勝林
③立花山風景林
④油山風致探勝林
⑤若杉山風致探勝林
⑥安国寺風景林
⑦虹の松原風致探勝林
⑧黒髪山自然休養林
⑨田代原風致探勝林
⑩有明山風景林
⑪くまもと自然休養林
⑫木原山風景林
⑬西之浦スポーツ林
⑭鳴子沢風景林
⑮九重風致探勝林
⑯くじゅう山風景林
⑰由布・鶴見岳自然休養林
⑱向坂山野外スポーツ地域
⑲尾鈴風致探勝林
⑳一ツ葉野外スポーツ地域
㉑宮崎自然休養林
㉒猪八重の滝風景林
㉓赤池風致探勝林
㉔北霧島風景林
㉕御池風致探勝林
㉖霧島自然観察教育林
㉗栗野岳風景林
㉘丸尾風致探勝林
㉙吹上浜風致探勝林
㊱おおすみ自然休養林
㊲批島自然観察教育林
㊳屋久島自然休養林
㊴田代浜風景林
㊵千尋の滝風景林
㊶大川の滝風景林
㊷西表自然休養林

<問い合わせ先>
 林野庁 九州森林管理局 総務企画部
 企画調整課 企画調整係 室木（むろき）
 住 所：〒860-0081
 熊本県熊本市西区京町本丁 2-7
 電 話：096-328-3511
 メール：ky_kikaku@maff.go.jp